

浜岡原子力発電所1, 2号機 廃止措置状況 (平成28年度 第4四半期 自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)

1 第2段階（原子炉領域周辺設備解体撤去期間）の進捗状況について

1, 2号機の廃止措置の第2段階では、汚染状況の調査・検討、系統除染および建屋・設備・機器の解体撤去を実施します。

第2段階の進捗状況^{※1}

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
廃止措置計画			▼変更認可(2月3日) ^{※2}						
汚染状況の調査・検討			▼1号機サンプル採取終了	1号機		2号機			
系統除染				1号機	2号機				
設備・機器の解体撤去	放射線管理区域内	1号機	▼工事着手(2月15日) ^{※2}						
	2号機	▼工事着手(2月15日) ^{※2}							
	排気筒			解体準備工事		解体工事			
	放射線管理区域外								
希ガスホールドアップ装置建家の解体									

※1 本計画については、工事の実施状況、検討・評価状況等により変更となる可能性があります。

※2 平成28年2月3日に、廃止措置計画の変更の認可を受けました。これにより、放射線管理区域内のうち原子炉領域周辺設備の解体工事を開始しました。

■枠内が、今回お知らせする対象となります。

2 汚染状況の調査・検討について

目的	現在の状況
放射線管理区域内の設備を適切に解体撤去する計画を立案するために実施。	平成28年3月末までに、1号機原子炉圧力容器内および原子炉格納容器内のサンプル採取を、計画通り実施し終了しました。現在、採取したサンプルを分析しています。

3 系統除染の状況について

今四半期において作業の実績はありませんでした。

4 設備・機器の解体撤去の状況について

(1) 放射線管理区域内設備の解体撤去工事の状況

施設の名称	工事件名	目的(工事の概要)	作業期間	実績等
浜岡1号機タービン建家2階(1T-2-01)	浜岡1号機タービン建家2階設備のうち、固定子冷却装置、密封油装置等の解体撤去工事	浜岡1号機タービン建家2階設備のうち、固定子冷却装置、密封油装置等の解体撤去	平成28年9月12日～平成29年4月下旬	接続ケーブルの切断を実施。励磁機盤、固定子冷却装置および密封油装置の解体工事を実施。
浜岡1号機原子炉建家4階(1R-4A-05)	浜岡1号機第2段階解体撤去工事	浜岡1号機原子炉建家4階設備のうち、PLR-MGセット等の解体撤去	平成28年12月1日～平成29年5月下旬	PLR-MGセット用ローカルクーラ、制御盤の解体工事を実施。
浜岡2号機タービン建家地下1階(2T-B1-03)	浜岡2号機第2段階解体撤去工事	浜岡2号機タービン建家地下1階設備のうち、亜鉛注入装置の解体撤去	平成28年12月5日～平成29年4月下旬	溶解槽、ポンプおよび配管の解体工事を実施。
浜岡1号機タービン建家2階(1T-2-10)	浜岡1号機第2段階解体撤去工事	浜岡1号機タービン建家2階設備のうち、機械工作室内設備の解体撤去	平成29年2月22日～平成29年6月下旬	機械工作室内設置工具の解体工事を実施。

施設の名称	工事件名	目的(工事の概要)	作業期間	実績等
浜岡2号機原子炉建家4階(2R-4A-07)	浜岡2号機第2段階解体撤去工事	浜岡2号機原子炉建家4階設備のうち、PLR-MGセット等の解体撤去	平成29年3月21日～平成29年7月下旬	オイルポンプ、制御盤の解体工事を実施。

(2) 排気筒解体撤去工事の状況

今四半期において作業の実績はありませんでした。

(3) 放射線管理区域外設備の解体撤去工事の状況

施設の名称	工事件名	目的(工事の概要)	作業期間	実績
浜岡1号機非常用冷却塔	浜岡1号機非常用冷却塔解体撤去工事	浜岡1号機の非常用冷却塔、補給水タンクの解体撤去	平成28年6月30日～平成29年2月3日	非常用冷却塔、補給水タンクの解体を実施。(工事完了)
浜岡1号機主要変圧器他	浜岡1号機主要変圧器他解体撤去工事	浜岡1号機の主要変圧器、直結変圧器、相分離母線他の解体撤去	平成28年8月1日～平成29年6月中旬	相分離母線、相非分割母線、変圧器消火装置、直結変圧器およびOFケーブルの解体工事を実施。
浜岡1号機インテーク屋外照明器具	浜岡1号機インテーク屋外照明器具解体撤去工事	浜岡1号機のインテーク屋外照明器具の解体撤去	平成28年9月1日～平成29年2月2日	インテーク照明器具の解体工事を実施。(工事完了)
浜岡1,2号機アフタースクリーン	浜岡1,2号機アフタースクリーン設備解体撤去工事	浜岡1,2号機のアフタースクリーン設備の解体撤去	平成28年10月18日～平成29年2月3日	アフタースクリーン設備の解体工事を実施。(工事完了)
浜岡1,2号機循環水ポンプ等	浜岡1,2号機循環水ポンプ等解体撤去工事	浜岡1,2号機の循環水ポンプ等の解体撤去	平成28年12月13日～平成29年11月下旬	1号鉄イオン注入装置、1,2号機循環水ポンプモータ冷却装置および1,2号機硫酸第一鉄注入装置の解体工事を実施。

5 解体撤去物について

(1) 放射線管理区域内の解体撤去物の発生・搬出・保管状況(単位:トン)

(平成29年3月31日現在)

	1号機				2号機				備考	
	発生量 ^{※1}		搬出量 ^{※2}		保管量	発生量 ^{※1}		搬出量 ^{※2}		
	今期	累計 ^{※3}	今期	累計 ^{※3}		今期	累計 ^{※3}	今期	累計 ^{※3}	
放射性固体廃棄物 ^{※4}	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
クリアランス対象物 ^{※5}	8.0	19.2	0.0	0.0	19.2	0.0	117.0	0.0	0.0	117.0
放射性廃棄物ではないものの ^{※4}	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
合計 ^{※2}	8.0	19.2	0.0	0.0	19.2	0.0	117.0	0.0	0.0	117.0

上表のほか、除染等の処理過程にあるもの(工事中の一時保管含む)を11.7トン保管。

※1 放射線管理区域内の解体撤去物のうち分別および計量により物量を把握できた量。

※2 放射性固体廃棄物、リサイクルもしくは産業廃棄物として発電所敷地外に搬出した量。

※3 端数処理のため合計値が一致しない場合があります。

※4 発生量の内訳は、発生時に区分した際の量であり、その後の区分変更により区分間での増減が生じことがあります。

※5 放射性物質として扱う必要のないもの。今後、クリアランス制度適用に向けた国への申請手続きを行っていきます。

(2) 放射線管理区域外の解体撤去物の発生・搬出・保管状況 (単位:トン)

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

	1号機				2号機				備 考	
	発生量※1		搬出量※2		保管量	発生量※1		搬出量※2		
	今期	累計※3	今期※4	累計※3		今期	累計※3	今期※5	累計※3	
金属類	0.0	253.1	54.3	253.1	0.0	0.0	763.4	39.4	763.4※6	0.0
コンクリート類	0.0	35.3	0.1	35.3	0.0	0.0	23.8	0.3	23.8	0.0
その他	4.9	30.8	4.1	25.9	4.9	0.5	71.0	0.6	70.5	0.5
合計※3	4.9	319.2	58.5	314.3	4.9	0.5	858.2	40.3	857.7	0.5

※1 放射線管理区域外の解体撤去物のうち分別および計量により物量を把握できた量。

※2 発電所敷地外に産業廃棄物・有価物等として搬出した量、もしくは発電所敷地内で再利用とした量。

※3 端数処理のため合計値が一致しない場合があります。

※4 平成 29 年 2 月 1 日～2 月 3 日に 1 号機非常用冷却塔、1 号機インテーク屋外照明器具、1, 2 号機アタースクリーン設備等について、第三者機関による立ち会いのもと発電所敷地外へ搬出。(第三者機関の確認結果は添付のとおり)

※5 平成 29 年 2 月 1 日～2 月 3 日に 1, 2 号機アタースクリーン設備について、第三者機関による立ち会いのもと発電所敷地外へ搬出。(第三者機関の確認結果は添付のとおり)

※6 海水連けい設備の一部(ポンプ、電動機 金属類 7.6t)を災害訓練用として発電所敷地内で再利用しました。それ以外は、発電所敷地外に搬出しました。

注1:解体撤去物の発生量が確定してから搬出までに期間を要するため、発生量と搬出量に差異が生じる場合があります。

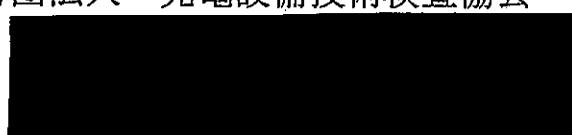
6 今後の予定

翌四半期間および翌々四半期間における予定は以下のとおりです。

設備の解体撤去工事を進めていきます。

以 上

確認書

事業所名	中部電力株式会社 浜岡原子力発電所	
解体工事名	浜岡1号機 非常用冷却塔等解体撤去工事 浜岡1号機 インテーク屋外照明器具解体撤去工事 浜岡1, 2号機 アフタースクリーン設備解体撤去工事	
確認年月日	平成29年 2月 1日～2月3日	
確認結果	管理区域内に接続している設備の汚染確認	良
	解体撤去物の細断作業時の管理	良
	解体撤去物の一時保管時の管理	良
	解体撤去物の所外搬出に向けた車両積載時の管理	良
	解体撤去物の所外搬出時の放射線測定	良
確認者	一般財団法人 発電設備技術検査協会 	
備考	<p>今回の立会記録確認を実施した解体撤去物の内訳は以下の通り。</p> <p>非常用冷却塔等解体撤去物 金属類(1号: 20.163t) その他(1号: 2.690t)</p> <p>インテーク屋外照明器具解体撤去物 金属類(1号: 6.747t) その他(1号: 1.096t)</p> <p>アフタースクリーン設備解体撤去物 金属類(1号: 29.392t 2号: 39.403t) リンクリート類(1号: 0.090t 2号: 0.288t) その他(1号: 0.298t 2号: 0.590t)</p>	

確認書（確認結果）の解説

【確認項目（管理区域内に接続している設備の汚染確認）】

- 解体撤去物が放射線管理区域内に接続し汚染の恐れがある気体または液体と直接接触する可能性があった場合、解体工事範囲の境界点において汚染がないことが測定により確認されていること。

【確認項目（解体撤去物の細断作業時の管理）】

- 解体撤去物を細断する場合、他の作業から発生する廃棄物が誤って混在しないよう、作業場所を柵もしくはフェンス等で区画する等の措置が講じられていること。

【確認項目（解体撤去物の一時保管時の管理）】

- 細断した解体撤去物を一時的に保管する場合、他の作業から発生した廃棄物が誤って混在しないよう、保管場所を柵もしくはフェンス等で区画する等の措置が講じられていること。

【確認項目（解体撤去物の所外搬出に向けた車両積載時の管理）】

- 発電所外へ搬出する車両に解体撤去物を積載した状態で、放射線サーベイメータによる放射線測定を行い、その結果環境放射線レベル※と比べて有意な差がないことを確認していること。

【確認項目（解体撤去物の所外搬出時の放射線測定）】

- ゲートモニタによる放射線測定が適切に実施されていること、また測定中にゲートモニタの警報が鳴動しないこと。

※：ここでいう環境放射線レベルとは、車両が無い状態での測定位置の放射線レベルをいう。